

令和元年度第3回 旭川市総合戦略検討懇談会 議事録

日時 令和2年2月14日（金） 13時30分から15時00分まで

場所 旭川市民文化会館 第2会議室

出席者

参加者

（50音順）

荒山 恭一氏 ， 柏葉 健一氏 ， 川村 祐子氏 ， 瀬口 哲生氏 ，
斉藤 素子氏 ， 坂本 尚志氏 ， 嶋崎 東子氏 ， 能登 裕一氏 ，
三浦 顕治氏 ， 松倉 敏郎氏

オブザーバー

財務省北海道財務局旭川財務事務所長 今野 光利氏

国土交通省北海道運輸局旭川運輸支局首席運輸企画専門官 山角 雄一氏

農林水産省北海道農政事務所旭川地域拠点 総括農政推進官 渡辺 純一氏

経済産業省北海道経済産業局地域経済部健康・サービス産業課参事官 直江 健二氏

北海道上川総合振興局地域創生部地域政策課長 細谷 正樹氏（代理出席）

事務局

総合政策部長 佐藤 幸輝

総合政策部次長 坂本 考生

政策調整課主幹 北嶋 一雅

政策調整課主査 狩野 大助

政策調整課 小松 知広

政策調整課 太田 一弘

会議の公開・非公開

公開

傍聴者の数 1名

会議資料

- 資料 1 旭川市人口ビジョン【改訂版】(案)
 - 資料 2 旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】(案)
 - 資料 3 令和2年度旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】関連事業一覧(案)
 - 参考資料 1 旭川市人口ビジョン【改訂版】(案)及び旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】案に対して寄せられた意見について
 - 参考資料 2 令和元年における旭川市の人口動態について
- ※参考資料 1, 2は当日配付資料

会議次第

- 1 開 会
- 2 議 題
 - (1) 旭川市人口ビジョン【改訂版】及び旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】について
 - (2) 令和2年度旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】関連事業予算について
 - (3) その他(旭川市の人口動態について, 令和2年度以降の懇談会について)
- 3 閉 会

1. 開会

2. 議題

- (1) 旭川市人口ビジョン【改訂版】及び旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】について

(事務局)

【資料1に基づいて説明】

ただいまの説明につきまして御意見等があればお願いします。

(A氏)

8ページの具体的な施策と重要業績評価指標のA 移住(UIJターンを含む)総合的な環境整備の項目のうち,UIJターンにつきましては,サイト上で募集した人をマッチング

するだけでは弱いと考えています。UIJ ターンを進めるには、都市部へ赴いて求人活動などの支援もしていただく必要があります。旭川市で働くことを迷っている人には市内の企業情報に加えて将来設計ができるような情報もあればよいと感じます。UIJ ターンの支援については、もう少し踏み込んで表現をしていただきたい。

(事務局)

御意見ありがとうございます。表現につきましては工夫をしていきます。UIJ ターンに関しましては、昨年より官民連携で「移住促進協議会」を立ち上げ、東京へセミナーなどのPRを進めています。また、国の交付金を活用しまして、地元の中小企業に就職した場合に移住者へ移住支援金を支払うという制度もあります。そういった取組を続けていきたいと考えています。

(A氏)

取組をしているのはわかりますが、現場では人が足りない。例えば、介護人材や運輸関係の人材など、人材不足で悩んでいる業界と協力して人材確保をするような取組はありますか。また、喫緊の課題となっている交通についても、企業と連携を行いながら維持確保をしていただきたい。

人材確保について、具体的な内容が示されていませんので、ポイントを絞って理にかなった形で実施していただければと思います。

(事務局)

公共交通につきましては、人材確保に関する取組を一部開始していますので、それらを中心に検討させていただければと思います。

ほかに御意見等はございますか。なければ、議題2に進みます。

(2) 令和2年度旭川市まち・ひと・しごと創生総合戦略【第2期】関連事業予算について

(事務局)

【資料2に基づいて説明】

ただいまの説明につきまして御意見等があればお願いします。

(B氏)

ICT パークについて、まちの賑わいなどに効果はあると思いますが、どういう方向性で若者を育てるか、また、最終目標がわからないので教えていただきたい。

(事務局)

ICTパークはご指摘のとおり、eスポーツで若者を集めて賑わいを創出するという側面もありますが、それ以外にもプログラミングを学んだり、IT企業を誘致してデバック作業を行ったりとeスポーツをきっかけにIT分野に興味を持った若者をIT人材として育てるという目標があります。

(B氏)

市内にある大学や高等専門学校との連携など、この事業の今後の展望や具体的なビジョンを教えてほしい。

(事務局)

検討段階ではありますが、関係団体と経済部で協議を進めております。例えば、旭川高等専門学校や旭川工業高等学校のプログラミング講師や、プログラミングやeスポーツの大会に出場している学生などとも連携していければと考えております。

また、小中学校でプログラミング教育が4月から本格化しますが、教師がICTパークで研修を受けたり、ローカル5Gを使ったプログラミングの体験をしてもらったり、幅広い事業展開を検討しております。

(A氏)

7ページのウ 街の産業を支える人材として全ての人が活躍できる環境づくりについて、まず、介護人材確保支援事業では、人に対する支援、例えば研修やスキルアップの取組をしています。しかし、企業は人件費等の費用が大きくなる一方で介護報酬は上がっておらず、負のスパイラルに入っています。市は人件費等の補助メニューを導入するなど検討をしてほしいと思います。

加えて、地域公共交通対策事業では、路線バス乗務員確保への助成という取組がありますが、路線バス以外にも地域交通を支えているタクシーなどの人員確保も重要だと考えます。また、除雪のドライバー不足が顕著になっており、将来的に市の除雪業務が立ちいかなくなる可能性もあります。バスの人材確保にフォーカスをするのであれば、ほかの交通関係の業種にもアプローチをしなければ、バランスがとれないと思います。

(事務局)

ありがとうございます。課題認識としては我々もありますので関係部局と検討を行って参ります。

(C氏)

先ほど、B氏から出た意見と全く同意見でして、ストーリーが大事かと思います。ICT

パークについては積極的に行ってほしいと思います。私が聞いている限りICTパークの構想は民間の反応は思ったよりも悪くないので自信を持って進めてほしい。予算について、箱物を運営していく予算だと思いますが、これからどのような中身にしていくかが問題です。先ほど話のありました工業高校の先生だけと連携しても限界があると思います。市の中で積極的に事業を広げていくことが大事だと思いますのでよろしくお願いします。

旭川圏トライアルワーク連携支援事業の説明の中で、AIの活用とありましたが、具体的にどのような使い方をするのでしょうか。

(事務局)

経済産業省でAIを活用したマッチングシステムが開発されているそうです。具体的には、事前に学習した内容と企業情報を入力して各個人の興味や特性にあった企業をマッチングするものです。当市におきましても高校生のインターンシップ先を決定する際に導入する予定です。理由としましては、高校生がインターンシップに行く場合には、教師の把握している企業情報を中心にマッチングを行うため、各個人に適した企業を必ずしも紹介することが難しいという背景があるためです。

ほかに御意見等はございますか。なければ、次の議題に進みます。

(3) その他

(事務局)

【参考資料に基づき説明】

ただいまの説明につきまして御意見等があればお願いします。なければ、本日の議題はこれで終了します。

3. 閉会